



問 町の活性化に宿泊施設を

答 長期的な事業実施計画の中で、整備について検討する

問 子供たちの泳ぐ力、つまり水泳教育について、①クリークの町で水の事故の対策は考えているのか②水泳教育について、実質的個別指導の先生は、また、

町長の答 町内に宿泊研修施設があれば、遠征チームの受け入れによるスポーツ大会の開催や青少年野外活動の充実、農業や環境の分野における幅広い地域との交流など、さまざまな事業展開が可能となるとともに、町の経済の活性化にも寄与することが期待できると思われる。このため、町としても必要な財源、運営の採算性などの課題を踏まえつつ、長期的な事業実施計画の検討の中で宿泊研修施設の整備についても検討していきたい。



サッカーの練習をする大木FC

問 子供たちの泳ぐ力、つまり水泳教育について、①クリークの町で水の事故の対策は考えているのか②水泳教育について、実質的個別指導の先生は、また、

町長の答 町内に宿泊研修施設があれば、遠征チームの受け入れによるスポーツ大会の開催や青少年野外活動の充実、農業や環境の分野における幅広い地域との交流など、さまざまな事業展開が可能となるとともに、町の経済の活性化にも寄与することが期待できると思われる。このため、町としても必要な財源、運営の採算性などの課題を踏まえつつ、長期的な事業実施計画の検討の中で宿泊研修施設の整備についても検討していきたい。



着衣水泳



問 本町における空き家の実態と対策は

答 費用助成等の対策を検討する

町長の答 他市の町村で実施されている取り組みも参考にし

問 自治体で助成等の何らかの手助けをすれば、全面解決とはいかなくても幾らか前に進むものと思われる。大牟田市など解体助成をしている自治体もあるが

町長の答 危険な状態の空き家については、地元区長と協議をしつつ、所有者に対応をお願いしている。

問 危険な状態の空き家についての具体的な対策をなされているのか。

町長の答 現在、全国的に問題化している空き家だが、本町でも数年前から問題となっている。常に住民の安全を脅かす空き家について、早急に何らかの対策が必要だと思われる。本町において、空き家等の実態調査の結果は、



老朽化した空家

町長の答 総合的にどのような対策が必要なのか、老朽化した危険な家の除去に対する助成のみならず、適正管理についての勧告命令を含めた条例の制定まで行うのか、近隣の自治体の具体的状況も十分調査して、検討したい。

問 本町においても、代執行のための条例制定や対策が必要ではないか。

町長の答 協議の中で、限られた改修事業費で、宿泊可能な施設として整備することまで要望できない状況である。町内に宿泊施設があれば、さまざまな事業展開が可能になると考えられることから、当面は子育て交流センターなどの既存施設の有効活用により対応しつつ、長期的な事業実施計画の検討の中で宿泊施設の整備についても検討していきたい。今後、施設の利用により想定される事業や利用期間、必要な人員などの調査を行う。

問 いよいよ9月から、JA福岡大城の支所機能改革に伴い、大莞、大溝校区において校区コミュニティ支援センターがオープンする。地域住民の連帯融和を図り、地域コミュニティの振興と地域の多様な活動の支援、促進のほか、諸証明書の発行など行政事務補助など多岐にわたる業務内容となっているが、多くの町民、団体の要望を踏まえ、支援センター内に宿泊可能な設備をぜひ設置していただきたい。



地域コミュニティ支援センター

企画調整課長の答 現在、進められているJAとの協議のほか、各課から出された業務内容案の詳細が固まり次第、区長会等に説明、また必要に応じて校区での説明会を実施検討したい。

問 オープンまであと2カ月というのに、校区民には支援センターの機能説明など知らされていない。校区民、町民に理解、活用してもらうために、説明、周知していかねばならないが、説明会等の開催などの対策は、

問 大木町に宿泊施設があればどんなに便利で、食事や入浴、いろいろな面で町に波及効果が出て、スポーツの活性化も図られ、町内の子供たちの宿泊研修など、いろんな企画ができる。宿泊施設について、どのような考えか伺う。

町長の答 町内に宿泊研修施設があれば、遠征チームの受け入れによるスポーツ大会の開催や青少年野外活動の充実、農業や環境の分野における幅広い地域との交流など、さまざまな事業展開が可能となるとともに、町の経済の活性化にも寄与することが期待できると思われる。このため、町としても必要な財源、運営の採算性などの課題を踏まえつつ、長期的な事業実施計画の検討の中で宿泊研修施設の整備についても検討していきたい。

安全に指導できる適正な先生の人数なのか。③水質検査は、適正か。④経費は、教育長に伺う。

教育長の答 クリークでの水の事故や対策について、近年、重大な水の事故は起きていないが、福岡県内における過去3年間の水難発生状況を見ると、未就学児童で10件、小学生で18件、中学生で3件発生している。水難事故防止のためには、学校職員はもちろん、家庭や地域の方も意識を高くして指導に当たる必要がある。そこで、地域懇談会や校区民協議会、PTAの懇談会などで保護者に対して学校の指導内

容を周知し、学校、家庭、地域が一体となって事故防止に取り組めるよう努めている。

水泳指導について大木町では、早く上手に泳ぐことだけではなく、命を守るために長時間泳げることも指導の目的に含め、さらに、すべての学校で着衣水泳の実施を行い、非常時の泳ぎ方や心得などの指導も行っている。

プール指導においては、必ず2人以上の教職員で指導に当たっている。さらに、個別指導の必要な児童生徒や特別支援学級の児童生徒が参加するときは、担任、校長、教頭、主幹教諭等も指導に当たっている。プールの水質検査について各学校では、毎朝ハイクロンもしくはトヨクロンを入れて消毒、10時ごろには塩素濃度の測定、また今月中には、すべての学校で薬剤師による水質検査を行う。プールに要する経費について、5月から10月までの水道料金、また、消毒に要する費用、水質検査には毎年1回を要し、これらの費用の合計は、中学校で90万円程度、小学校で45万円から77万円程度となる。

問 小中学校のプールは、築50年以上経過し、老朽化し、破損箇所が出始めているのが現状で、修理箇所も増えてくると思うが、今後こういった状況をどう対処するのか考え伺う。

教育長の答 きれいにつくり建て直すという段階になると、相当計画的にやっていたいかならない。また、子供たちに不便をかけないようこれからも修理を丁寧に行って対応していきたい。